

相模原市

モデル圏域 相模原圏域

ADとの協働により、協議の場としての位置づけを明確にした

平成30年度から、これまでの「相模原市地域移行推進連絡会議」を改組・発展させて、新たに「相模原市精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進連絡会議」を設置した。しかし、これまでの地域移行を中心にメニュー事業を実施し、その結果を報告するようなスタイルからの脱皮が思うように図れずに経過した。

構築推進事業に加えて、今年度構築支援事業を実施することにより、これまでは行政職員だけで進行してきたが、広域・密着アドバイザーとの協働により、本来の協議の場としての機能を確保することが可能となった。

1 令和元年度の達成目標と現時点での進捗状況

令和元年度の達成目標	現時点での進捗状況
1. これまでの取組に関する第三者評価の実施	先ずは広域及び密着アドバイザーと現状の共有を行った。その内容をベースに、第1回協議の場において支援者やピアサポーター等参加者と、地域課題について意見交換を行い、その結果を使って課題抽出を始めた。
2. 第三者評価により明らかになった課題についての検討、ビジョンの明確化	1. の課題抽出については密着アドバイザーとともに作業を行い課題を整理した。この課題を第2回協議の場(11月)で示し、さらなる検討を加える。併せて支援者向け研修を開催し、地域包括ケアシステムのイメージ作りを図る計画である。
3. 庁内連携の場の確保	障害政策分野や高齢政策分野との連携を進めており、地域包括ケアシステムの構築に向けた意見交換の場を呼びかけている。具体の連携については、事例研究会を開催するなどして、相互理解を深める予定である。

2 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・従来から地域移行推進連絡会議が協議の場として機能しており、医療機関や地域の支援機関との顔の見える関係が構築されている。
- ・社会資源の乏しい地区においても、行政がコーディネーター機能を担い、長期入院者の退院を可能にしている。
- ・地域移行支援に特化したピアサポーターを養成し、精神科病院や入院患者にアプローチが可能となっている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
構築事業に向けての評価	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組みについて、その方向性や方法、成果について第三者評価を行う ・第三者評価の結果を受けて、今後強化していく内容・分野を検討する 	行政	評価方法の検討と今後の方向性の検討
		医療	評価方法の検討と今後の方向性の検討
		福祉	評価方法の検討と今後の方向性の検討
		その他関係機関・住民等	評価方法の検討と今後の方向性の検討
障害・介護・医療分野との庁内連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課との話し合いを実施し、相互理解を深める ・共通する課題に関し、協働を働き掛ける 	行政	庁内関係課への働き掛け
		医療	庁内連携・協働の後押し
		福祉	庁内連携・協働の後押し
		その他関係機関・住民等	庁内連携・協働の後押し

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①第三者評価の実施	検証未実施	検証の実施	検証の実施を通して、成果と課題を把握
②課題に対する検討、ビジョンの明確化	検討未実施	検討の実施	課題の検討を通して、強化すべき内容を決定
③庁内連携の場の確保	未確保	場の確保	定期的な協議の場を確保し体制整備を図る

3 病院（医療機関）との連携状況

- ・これまで630調査を活用し、1年以上の任意入院者の調査を実施するなど、退院阻害要因について精神科病院との共有や、長期入院者の地域移行について事例検討会を実施し、その退院可能性の検討を協働で行ってきた。
- ・相談支援事業者が少ない地域については、行政がコーディネート機能を併せ持つことでその機能を補完して、精神科病院との連携で地域移行の実現を図ってきた。
- ・市が養成した地域移行支援に従事するピアサポーターを病院に派遣し、OTプログラムへの協力や、地域移行に取り組む患者への心理教育を実施した。
- ・連絡会議（＝協議の場）にPSWや看護師等に出席してもらい、意見交換を定期的に行うことにより、病院から現状と課題等の発信や、クロザリルやアウトリーチの必要な、課題のある事例に関する話題提供もなされるようになり、地域課題についての議論も可能となってきた。

4 現時点での課題・悩み

- 地域の支援者（保健・医療・福祉）やピアサポーターらが主体的に関われる地域包括ケアシステムの仕組みづくり。
（個別事例とは異なり、システムを維持していく「主体」とは？）
- 庁内連携のイメージの共有。縦割りとならない相互補完的な連携に向けての進め方。